

近畿学校保健学会通信

No. 43

昭和 57 年 5 月 10 日
近畿学校保健学会事務所
〒543 大阪市天王寺区南河堀町4
大阪教育大学保健学教室内
TEL 06-771-8131(内線242)

第 29 回近畿学校保健学会の御案内

学会通信No. 42で御案内いたしました第29回近畿学校保健学会を下記のとおり開催いたします。
学校保健に関心のある方は、どなたでも正会員になって頂けますが、年会費3,000円を所定の用紙
(学会通信に掲載)を用いて前納して下さい。非会員の方の参加費として2,000円を頂きます。
同学の兄弟をお誘い合わせのうえ、御参加下さい。

第 29 回近畿学校保健学会プログラム

主 催 近 畿 学 校 保 健 学 会
後 援 京 都 府 教 育 委 員 会
京 都 市 教 育 委 員 会

日 時：昭和57年6月8日(火) 9:30～16:30

会 場：京都商工会議所 第1会場(講堂)、第2会場(2階教室)
京都市中京区烏丸通夷川上ル西側(地下鉄丸太町駅 南西出入口)
TEL: 075-231-0181(代)

日 程	9:00	12:00	13:00	13:25	14:30	16:30	18:00
	9:30	12:00	12:50	13:25	14:30	16:30	18:00
受 付	一般講演 (第1・2 会場)	評議員会 (第2 会場)	総会 (第1 会場)	特別講演 (第1 会場)	シンポジウム (第1 会場)	懇 親 会 地下「れすと らん井筒」	

会 費：正会員は不要。非会員は参加費として2,000円(会場費、資料代を含む)
評議員には昼食を用意しますので実費(800円)を頂きます。
懇親会費3,000円

会場案内：

国鉄京都駅 } から地下鉄丸太町駅下車南西出入口を出て
阪急烏丸駅 } スグ
京阪 三条駅から市バス⑥衣笠ゆきで、烏丸丸太町下車、
烏丸通を南へスグ
△有料駐車場(30分毎180円)があります。

発表される方へ：

(会場周辺図は10頁に記載して
あります。)

- ・一般講演の発表時間は9分、討議3分とします。
- ・第1・第2会場とも、それぞれプロジェクター1台を
用意します。スライドは講演発表の少くとも30分前
までに、順番を明示して受付に提出して下さい。

一 般 講 演 (講演 9 分、討議 3 分)

第 1 会場 (講 堂)

(9:30~10:05)

1. 児童・生徒の骨折と京都教育大学附属学校における体力・運動能力との関係
2. 児童・生徒の体格発育の評価のための年齢-身長-体重図表
3. 縦断的資料からみた身長発育基準値について

筏 安子、岩松道枝、高木美和、○田村勢津子、園 緑、楠 裕子、河手治子(京都教育大・附属校・園)
○中村栄太郎(京都大・保健体育)、永田久紀(京都府立医大・衛生)
三野 耕(大阪市大・教養)、楠本久美子(大阪教育大・附属天王寺高)、松本健治、竹内宏一、武田 真太郎(和歌山医大・衛生)

(10:05~10:40)

4. 大阪市内学校管理下における児童・生徒の頭部外傷に関する調査研究(I)
5. 同 上 (II)
6. 満 10 年を迎えた小学校児童の心臓検診

上延富久治、○片山由紀子、谷口昌子(大阪教育大・保健)、円山一郎(奈良文化女子短大)
上延富久治、片山由紀子、○谷口昌子(大阪教育大・保健)、円山一郎(奈良文化女子短大)
○橋本日出男、橋本友久(京都・勸修小・校医)

(10:40~11:15)

7. 自覚症からみた某中学校 1 年生の実態
8. 小学校保健学習の実態に関する一考察
9. 学力と体力について 一第 2 報一

○五十嵐裕子(神戸大附属明石中)、竹内宏一(和歌山医大・衛生)、善野典子(明石市立衣川中)、田淵満智子(明石市立望海中)
○松本美彦(滋賀・坂田小)、林 正(滋賀大・教育)
○南 良和(和歌山大附属中)、笠松勇次(和歌山大・教育)、山縣照夫(海南市野上小)

(11:15~11:50)

10. 学校保健管理用データベースの試作と電話回線による遠隔利用例について
11. 傷病発生状況分析のための記録簿とマークカードの開発について
12. 養護学校(精薄)就学児童、最近 21 年間の変遷

○五十嵐裕子(神戸大・附属明石中)、横尾能範(神戸大・教育)
神戸市教育工学会、学校保健情報処理部会(出井、奥田、内藤、中村、青山、大沼、明瀬、片畑、笠田、野沢、速水、楚輪、小山)、近藤(市教委)、上月(研究所)、横尾(神戸大)
○山本勝朗(堺市)、国沢宮子、浜本由美、豊田英太郎(堺市立百舌鳥養護学校)

第2会場（2階教室）

（9：30～10：05）

- 1 3. 学生の身長・体重・胸囲の在学中における変動

○北村李軒、小川隆三（京都大・保健管理センター）

- 1 4. 教職員の循環器検診

○山田良久、小西憲子（京都循環器病予防会）

- 1 5. 龍谷大学職員定期健診における血清
γ-GTP値上昇例について

○篠浦喜吉之介（龍谷大学診療所長）

（10：05～10：30）

- 1 6. 哺乳動物におけるスレオニンの代謝
について

○牧野智美、渡辺寿美、中山恵美（日本医学臨床検査研究所）、西崎いずみ、増田 勉（四天王寺国際仏教大学）

- 1 7. 女子短期大学保健科の卒業生の動向
について

○篠田喜代美、音瀬ツヤコ、増田 勉（四天王寺国際仏教大学・短大）

（10：30～11：05）

- 1 8. 学徒の摂取する食品群の実態とその
態度に関する研究

○瀬戸 進（大谷大）、川畑愛義（日本生活医学研）、平野登志子（華頂短大）、沖本昭子（大阪外大）、小沢旦子（富田林一中）、瀬崎節子、丸山文子（キリスト教短大）、竹石義男（京都産業大）

- 1 9. 食生活調査中に発見された食思異常
女子学生の食事内容について

○山本公弘（奈良女子大・保健管理センター）

- 2 0. 紫外線のラットの発育に及ぼす影響

○大山良徳、吉田浩重、生田香明、栗原崇志、猪熊真（大阪大・健康体育部）

（11：05～11：40）

- 2 1. 栄養摂取状態を測定する新Question-
naire 法の検討

○日比野朔郎（京都府大）、川畑愛義（日本生活医学研）、三宅義信（京都女大）、井上幸子（寝屋川六中）、虎谷典子（茨木市立春日小）、伊久典子（水尾小）、近藤文子（神戸市教委）、前田浅子（熊本大）

- 2 2. 学徒の発育発達に対する栄養の寄与
率の研究

○吉村磯次郎、津野貞子、庄司博延（京都女子大）
川畑愛義（日本生活医学研）、黄志良（明治鍼灸短大）、松原ヒサエ（八尾東高）、赤沢ふみ（克明小）

特 別 講 演 (13:30~14:30) 第1会場

思春期の問題行動とその心の内景

京都大学教育学部助教授

山 中 康 裕

座長 京都大学保健管理センター講師

三 好 暁 光

シンポジウム (14:30~16:30) 第1会場

テーマ：学校生活における自己表現と自己主張

司会：京都教育大学教育学部助教授

友 久 久 雄

シンポジスト：

京都市教育委員会カウンセリングセンター

日 高 正 宏

舞鶴市立白糸中学校教諭

村 田 知恵子

京都市立陶化中学校長

桐 山 昇 造

京都市立嵯峨中学校学校医

酒 井 晃

懇 親 会 (16:40~18:00) 地下「れすとらん井筒」

立食パーティー

会費 3,000円

おねがい：

- (1) 第29回学会の細部についてのお問合せは「〒606 京都市左京区吉田本町、京都大学保健診療所内、第29回近畿学校保健学会事務局、Tel: 075-761-9528」へお願いします。
- (2) 演題発表者で昭和57年度会費(¥3,000)を未納の方は至急御納入下さい。

近畿学校保健学会会則改正案

現行

第1章 名称及び事務所

第1条 本会は近畿学校保健学会と称する。

第2条 本会の事務所は学会々長のもとにおく。

第2章 目的及び事業

第3条 本会は学校保健に関する研究を行い、健康で文化的な学校生活に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 総会及び研究会の開催
2. 会誌及び図書の刊行
3. 学校保健に関する調査研究
4. 講習会の開催
5. その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 構成及び会員

第5条 本会は近畿地方に在住する学校保健関係者並びに本会の趣旨に賛同するものをもって構成する

第6条 会員をわけて次の三種とする。通常会員 賛助会員 名誉会員

第7条 通常会員は本会の趣旨に賛同し会費を納めたものとする。

第8条 賛助会員は本会の目的を達成するために賛助の意を表し、評議員会の承認を経たものとする。

第9条 名誉会員は学校保健に関し、学識、経験に富み、また本会に功労のあったもので、評議員会で推薦されたものとする。

第10条 会員は会費を滞納し、若しくは本会の名誉をけがす行為があったときには評議員会の議決により除名することができる。

第4章 役員

第11条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名
3. 評議員 若干名
4. 幹事 若干名

第12条 役員の任期は1ヶ年とし、評議員及び幹事は留任をさまたげない。

第13条 会長は学会開催地の会員のうちから評議員会において選出する。副会長は会長が委嘱する。会長は本会の会務を統括し、本会を代表する。副会長は会長を助け、会長に事故あればこれを

改正案

第1章 総 則

第1条 本会は近畿学校保健学会と称する。

第2条 本会は学校保健に関する研究を行い、学校教育に寄与することを目的とする。

第3条 本会の事務所は幹事長のもとにおく。

第2章 事 業

第4条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 総会、年次学会の開催
2. 会誌その他出版物の刊行
3. 学校保健に関する調査研究
4. その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 会 員

第5条 会員は本会の目的に賛同し、会費を納入したものととする。

第6条 会員は年次学会、会誌などを通して研究を発表することができる。また会誌の配布および本会の事業について連絡を受ける。

第7条 本会には賛助会員および名誉会員をおくことができる。

第8条 賛助会員は本会の目的を達成するために賛助の意を表し、評議員会の承認を経たもので賛助会費を納めたものとする。

第9条 名誉会員は学校保健に関し、学識、経験に富み、本会に功労のあったもので、評議員会の推薦にもとづき、総会で承認されたものとする。

第10条 会員は会費を滞納し、若しくは本会の名誉をけがす行為があったときには評議員会の議決により除名することができる。

第4章 役 員

第11条 本会に次の役員をおく。

1. 評議員 若干名
2. 幹 事 若干名（うち1名を幹事長、一部を常任幹事とする）
3. 監 事 2名

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員は会員より選出されるものとする。

第13条 役員の選出方法は別に定める。

第14条 役員の任務を次のように定める。

1. 評議員は評議員会を組織する。
2. 幹事は幹事会を組織する。常任幹事は会務

現行（つづき）

代理する。

- 第14条 評議員及び幹事は会長が委嘱する。評議員は本会の運営に関する事項を評議し、幹事は会長の依頼を受けて会務を処理する。

第5章 会 議

- 第15条 会議は総会、評議員会及び幹事会とする。
- 第16条 総会は毎年1回これを開く。必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- 第17条 会長は総会開催にあたって臨時に若干の総会役員をおくことができる。
- 第18条 評議員会は会長これを召集し、重要事項を審議する。
- 第19条 幹事会は会長これを召集し、その議長となり、総会、評議員会から委任された事項及び会長が必要と認めた緊急事項を処理する。

第6章 会 計

- 第20条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもつてあてる。
- 第21条 本会の会計年度は総会から次期総会までとする。
- 第22条 本会の決算は評議員会の議を経て、総会の承認を得るものとする。

雑 則

- 第23条 本会則の変更は総会の決議によるものとする。

附 則

- ① 会費は通常会費 1,000円、評議員は会費の他に500円を納めるものとする。
- ② 本会則は、昭和28年6月29日より施行する。
- 昭和33年6月13日
一部改正
- 昭和39年5月17日
一部改正
- 昭和49年9月6日
一部改正

改正案（つづき）

を処理する。幹事長は学会を代表し、会務を統括する。

3. 監事は会計を監査する。

第5章 会 議

- 第15条 本会の会議は総会、評議員会および幹事会とする。
- 第16条 総会は幹事長が毎年1回召集し開催する。必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- 第17条 評議員会は幹事長が召集し、本会の運営に関する重要な事項を審議決定し、総会の承認をうけるものとする。
- 第18条 幹事会は幹事長が召集し、評議員会に提案する議題の審議ならびに総会、評議員会から委任された会務を処理する。
- 第19条 評議員会および幹事会は構成員の過半数をもって成立する。

第6章 年次学会

- 第20条 本会は毎年1回年次学会を開催する。
- 第21条 年次学会長は会員のうちから評議員会で選出し、総会で承認され、年次学会の運営にあたる。
- 2 年次学会長は幹事会に出席することができる。

第7章 会 計

- 第22条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもつてあてる。
- 第23条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第24条 本会の収支決算は、監事の監査を受け、評議員会の議を経て総会の承認を得るものとする。

雑 則

- 第25条 本会則の変更は総会の決議によるものとする。

附 則

- 第26条 会費は年額 3,000円とする。
- 第27条 本会則は、昭和28年6月29日より施行する。
- 昭和33年6月13日
一部改正
- 昭和39年5月17日
一部改正
- 昭和49年9月6日
一部改正
- 昭和56年7月9日
改正

会 員 募 集 に つ い て

第28回近畿学校保健学会総会において別紙のように学会会則が改正され、昭和57年度より恒久
 会員制を設けることになりました。当分の間、本会の趣意に賛同され会員として会費を納入して頂き
 ますと、年2～3回学会通信及び年次学会の案内をお送り致します。又、昭和57年度年次学会（於
 京都、別紙案内御参考のこと）での研究発表は会員でないとできませんので、会員を希望される方は
 昭和57年度会費3,000円を学会事務所まで納入されますようお願い致します。

（ 切 り 取 り 線 ）

払 込 通 知 票									
口座番号	※	十	万	千	百	十	番		
大阪 0-		3	0	8	5	0	9		
加入者名	近畿学校保健学会事務所								
金 額	※	億	千	百	十	万	千	百	十 円
払込人住所氏名	※（郵便番号）								
備 考			受付局日附印						

各票の※印欄は、払込人において記載してください。

文字は正確明りように、数字はアラビア数字を使って書きください。

（ 郵 政 省 ）

払 込 票									
口座番号	※	十	万	千	百	十	番		
大阪 0-		3	0	8	5	0	9		
加入者名	近畿学校保健学会事務所								
金 額	※	億	千	百	十	万	千	百	十 円
払込人住所氏名	※								
料 金	払込み 円	特 殊 円		受付局日附印					
備 考									

記載事項を訂正した場合は、その箇所に証印してください。
 各票の記載事項にまちがいのないことを確かめください。

（ 郵 政 省 ）

近畿学校保健学会暫定幹事名簿

(昭和57年2月28日現在)

◇滋賀県

佐々木 武 史(滋賀医大) 林 正(滋賀大・教育) 宮 田 英 子(滋賀大・教育)

◇京都府

北 村 李 軒(京大・保健管理センター) 山 岡 誠 一(京都教育大) 米 田 幸 雄(京都教育大)

◇大阪府

今 井 英 夫(大阪教育大) 大 山 良 徳(大阪大・教養) 上 林 久 雄(大阪教育大)
後 藤 英 二(大阪教育大) 山 口 正 民(大阪府医師会)

◇奈良県

橘 重 美(天理大・体育) 出 口 庄 佑(奈良女子大) 中牟田 正 幸(奈良教育大)

◇兵庫県

佐 守 信 男 塚 本 利 之(兵庫医大) 美 崎 教 正(神戸大・教養)
南 哲(神戸大・教育) 山 城 正 之(神戸大・教育) 横 尾 能 範(神戸大・教育)

◇和歌山県

井 辺 八 郎(県学校保健主事研究会) 川 崎 武 彦(県歯科医師会) 小 谷 諒 夫(県 教 委)
松 岡 勇 二(和歌山大学) 武 田 真太郎(和歌山医大・衛生)

------(切り取り線)-----

近畿学校保健学会会員申込みについて

1. 学校保健に関心のある方は誰でも会員になれます。
2. 近畿学校保健学会は近畿地区6府県の輪番で毎年1回開催されます。
会員として入会されると、引続き「学会通信」をお送りし、学会に参加できます。
3. 申込みは右記通信欄に必要事項をご記入のうえご送金下さい。

通 信 欄

近畿学校保健学会会員申込書

◇会費 ￥3,000

会員氏名

住所(〒)

所属(具体的に)
(府・県)

職 種

近畿学校保健学会名誉会員

(昭和57年4月現在)

伊東 祐一	岩田 正俊	小沢 忠治	片岡 慶有	川畑 愛義	小出 陽造
竹村 一	永井豊太郎	西田 義文	三浦 運一	山田 一	黒田 健雄

第29回近畿学校保健学会暫定評議員

(昭和57年4月現在)

◇滋賀県

饗庭 昭	伊藤 昭三	植村 良雄	内林 利治	大隅 実	大村 勝
鎌田昭二郎	久保田源太郎	小西 茂男	小林 清基	佐々木武史	嶋沢 良一
田部はつえ	林 正	久木 竹久	福岡 菊江	藤井 義顕	別宮 久子
馬杉 矣三	宮田 英子	本原貫一郎	山岸 司久	山口 金治	山田 重樹

◇京都府

井上 正昭	今村 要道	大石 嘉雄	大原 純吉	奥 正規	貝川 一男
景山 幸雄	金井 秀子	金山 政喜	川北 智世	北村美葉子	北村 李軒
小西 博喜	小山 一	瀬戸 進	高島 雅行	立川 明	永田 久紀
田中 俊夫	橋井 盛夫	日比野朔郎	平塚 哲夫	福田 潤	福本 絹子
藤井 正雄	藤田 俊晃	増田英美子	松井 健三	三宅 義信	八木 保
山岡 誠一	吉岡 文雄	米田 幸雄			

◇兵庫県

青山 泰子	明瀬 好子	芦田 正子	足立ひで子	五十嵐裕子	和泉 正人
井上 正三	今出 悦子	大西 道子	岡本 靖子	家治川 豊	川上 千寿
木村 静雄	近藤 文子	佐守 信男	立石 光代	田辺 和子	田野 良雄
塚本 利之	出井 梨枝	中田富士雄	長本 正典	野瀬善三郎	細原 広
美崎 教正	南 哲	室 明	山城 正之	山田 光盛	横尾 能範
和久田賢夫	渡辺 一九	吉村 恵江			

◇大阪府

赤沢 フミ	天富美弥子	安藤 格	井原 孝	今井 英夫	上延富久治
大迫 昌三	大山 良徳	川辺 克信	上林 久雄	小河 弘之	湖崎 克
後藤 章	後藤 英二	合田 梅野	桜井米次郎	進 龍太郎	須藤 勝見
多田 政恵	高井 一郎	竹内 和子	武貞 昌志	辻 一哉	津村 寿子
寺岡 政代	仲井 正名	中村 篤夫	難波 英子	萩原 一成	原田 龍夫
藤岡 千秋	細部新一郎	堀内 康生	松岡 弘	松嶋 紀子	南口 公恵
柳井 勉	山内 隆栄	山口 正民	山田 耕司	山本 勝朗	山本 信弘
吉田 福子					

◇奈良県

東 愛子	今西 昭雄	岩本 正雄	上田 光夫	浦久保 繁	緒方 準一
奥田 悦夫	唐沢 友江	喜多村 勝	熊谷 遵徳	小林 秀雄	橋 重美
田村 幸子	出口 庄佑	中牟田正幸	馬場 春代	平井五兵衛	円山 一郎
森本 稔	山岸 陸男	山本 公弘			

◇和歌山県

井辺 八郎	襟田さよ子	岩田 弘敏	岩畑 嘉樹	井原 義行	上野 充弘
宇野 修司	海野 正起	笠松 勇次	川口 和恵	川口 英雄	川口 吉雄
川崎 武彦	小谷 諒夫	島 新一	庄本 正男	鈴木 町子	園山 和夫
武田真太郎	竹内 宏一	中 俊博	中尾 昌雄	野田 康夫	則岡 広昭
藤井 知子	古谷 孝雄	松岡 勇二	松沢 勉	森川 容子	山口 右二
吉田 譲	渡辺美智子	和田 寿子			

会場周辺図

